

令和3年度 事業報告

公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会

令和2年年頭からの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が今なお続く中で、わが国においても経済をはじめとして国民生活全般にわたって大きな影響が出ています。

雇用においても、雇い止めや内定取り消しなどで働き先を失う人が増加してきています。令和元年度に1.74倍だった大阪の有効求人倍率は、令和2年度には1.18倍と大きく下落し、直近令和4年2月には1.11倍になりました。

特に、子育てと仕事を一人で担い、就労にあたっての制約も多いひとり親家庭にあっては、不安定な雇用状態に置かれることも多く、一層厳しい状況にあります。

当会としては、コロナ禍においてウェブ面接の指導を取り入れるなど、「ひとり親家庭等就業・自立支援センター」の取り組みを通じて、ひとり親家庭の雇用の安定をめざしていますが、一方で、コロナ感染対策の必要性から各種就業支援講習会の中止や定員を減らしての開催という状況が続いています。また、開催に際しては基本的な感染対策（マスク、事前検温、消毒、換気等）はもとより「オンライン講座」を導入するなどの工夫をしています。

当会は、母子・父子福祉センター「大阪市立愛光会館」の指定管理者として、「ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業」「講演会、講習会その他教養講座の開催」「ひとり親家庭等に対する各種相談事業」「会館及びひとり親家庭等支援制度に関する広報・啓発」及び施設の管理運営を行うとともに、「ひとり親家庭等日常生活支援事業」及び「エンゼルスポーター派遣事業」を大阪市から受託して実施しています。

大阪市のひとり親家庭等に対する自立支援推進を掲げた「大阪市ひとり親家庭等自立促進計画（令和2年度～令和6年度）を踏まえての事業実施を行い、ひとり親家庭並びに寡婦の福祉増進に向け努力しています。

また、自主事業として、「交流事業」や「教養講座」を行うとともに、篤志家の協力を得ての「皓養奨学資金」や「夢を応援基金（ローソン奨学金）」といった奨学金の給付事業に引き続き取り組んでいます。さらに、コロナ禍の下でのひとり親家庭支援事業として、昨年度に引き続き、食料品を届ける「応援ボックスお届けプロジェクト」を実施しました。令和3年度に実施した事業は、次のとおりです。

I.公益目的事業

公益目的に資する事業として、愛光会館の管理運営事業、ひとり親家庭等日常生活支援事業及びエンゼルサポーター派遣事業（ともに大阪市受託事業）を実施しました。

【1】愛光会館管理運営事業

1 愛光会館の管理運営

愛光会館は、ひとり親家庭・寡婦福祉事業の活動拠点施設「母子・父子福祉センター」として、ひとり親家庭等の自立に向けた各種の就業支援講習会、就業相談、就業情報の提供、職業紹介を行うほか、生活・法律相談や研修会、各種会議や集会の場などに利用される施設です。

運営にあたっては、まず安心して気持ち良く利用できることを第一とし、新型コロナウイルス対策を万全に行うとともに、利用者の意見や要望・満足度等を把握するためのアンケート等を事業毎に実施しました。

また、「愛光会館運営委員会」を設置し、外部委員からの意見や助言を求め、事業内容の充実と効率的で円滑な運営に努めています。

さらに、当事者団体の視点から研修・講習会に一時保育をつけるなど、ひとり親の方が利用しやすい会館として、知名度アップと利用率の向上に取り組んでいます。

会館利用実績：令和4年3月末 960回 延べ3,989名 相談来館680回含む
(前年同期 811回 延べ3,736名 相談来館522回含む)

2 講演会、講習会その他教養講座の開催

ひとり親家庭と寡婦の福祉増進、子どもの健全育成をめざし、次の事業を実施しました。なお、各種事業の実施にあたっては、広くひとり親家庭等に周知するとともに、コロナ対策にも万全を期すため、定員の50%減での実施や実施回数を追加するなど社会・経済状況に応じた事業展開に努めました。

(1) 健全育成事業

①親子交流事業

社会から孤立しがちなひとり親家庭を対象に、親子で参加・体験できる学習や自然に触れる講座など、交流や学習する場を提供することにより親子の絆を育み、孤立感の解消や子どもの健全育成を図ることを目的に親子交流事業を企画しました。

なお、実施予定だったCOM'Sカルチャー第1回目については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所	満足度
COM'S カルチャー	9月12日 (日)	「フルーツ収穫体験 ～ぶどう狩り～」	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため中止		—
	11月14日 (日)	「編まないマフラー モフリーづくり」	34名	愛光会館	100%
	3月13日(日)	「親子でオーブ石鹸づくり」	16名	愛光会館	100%
親子で楽しむ 芋ほりのつどい	10月31日 (日)	「親子で芋ほり体験」	113名	信貴山のどか村 (奈良県)	93.5%

②児童の体験学習事業

子どもたちが自然豊かな郊外で生活体験や子ども同士の交流を通じて、自立意識の醸成や社会性等を育むことを目的に実施するところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容を変更して実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所	満足度
わくわくキッズ 生活体験学習	7月11日 (日)	「地引網 体験学習」	47人	岡田浦漁港	100%

③ひとり親教養講座・研修会

ひとり親家庭の親等を対象に、生活や子育てに役立つ知識、意識や気持ちの持ち方、健康や医療、社会意識の向上など幅広い分野で学ぶ機会として実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を半数にしたうえ、対面とオンラインの両方で実施しました。

事業名	開催日	内 容	参加者	場 所	満足度
ひとり親教養講座	7月25日 (日)	「発酵食 ～発酵パワーで腸 内環境を整えよう～」	14名 (内ZOOM 参加4名)	愛光会館	92%
	10月24日 (日)	「ハッピーバレエ ストレッチ」	9名	愛光会館	100%
寡婦研修会	10月6日 (水)	「愛光会館のホームページや LINE を活用した情報伝達、情報 交換」	14名	愛光会館	100%
	3月2日 (水)	「～心も身体も健康に～ 古典に親しむ落語の世界」	21名	愛光会館	100%
若年寡婦研修会	10月3日 (日)	「免疫力を高める生活術」	14名	愛光会館	93%
離婚前セミナー	12月12日 (日)	「離婚についての基礎知識」	13名	愛光会館	92%

(2) 生活支援講習会事業

地域社会における人間関係の希薄化が、生活面での孤立を招き、育児や生活に必要な情報が伝わらないという状況があります。

子どもの養育、健康、生活面での悩みを共有し、孤立感の軽減を図るため、ひとり親家庭並びに寡婦を対象に、各区において地域の状況に応じた生活支援講習会事業（講習、生活相談など）を実施しているところですが、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各区ともに計画を立てつつも実施を見送らざるを得ない状況にあります。

講習会等の実施実績 : 令和4年3月末 98回 2,168名
(前年同期 74回 1,672名)

(3) ひとり親家庭等に対する各種相談事業

①身近な地域における相談事業

ひとり親家庭等の心身の悩み、ストレスは身近な人のアドバイスや適切な情報に救われることも多いことから、住みなれた近隣で気軽に身上・生活相談が出来るよう、概ね小学校下毎にひとり親家庭等福祉相談所を設置しています。例年、相談所員の資質向上を図るため研修会を実施していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため時期を延期し、1月に新任研修会、全体研修会を合同で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染第6波の影響により中止としました。

○ 大阪市ひとり親家庭等福祉相談所の運営

令和4年3月末 : 相談所数 191ヶ所
相談件数 8,155件
(前年同期 6,899件)

○ 相談所員研修会

- ・新任研修会（愛光会館） 6月6日(日)延期
- ・全体研修（大阪市立住まい情報センター） 8月22日(日)延期
- ・新任研修及び全体研修会 令和4年1月30日(日)午前・午後の2部制 中止

②会館における各種相談

愛光会館での電話相談等

相談件数（就業相談は除く）：令和4年3月末 478件 （前年同期 274件）

(4) ひとり親家庭支援制度に関する広報・啓発

①「ひとり親家庭等サポートブック」・「ひとり親家庭支援制度・周知リーフレット」

の作成

ひとり親家庭等に関する制度の紹介と利用のための手引書として大阪市と共同で作成し、関係機関に配布しました。

ひとり親家庭等サポートブック 40,000部 区役所等関係機関に配布

ひとり親家庭支援制度・周知リーフレット 43,000部 児童扶養手当証書等に同封し、
ひとり親家庭に配布

②ホームページの管理とLINEの活用

昨年度全面リニューアルし、携帯サイトやLINEともリンクさせて、より見やすくタイムリーな情報の掲載と適正な管理に努めています。

また、ホームページ内の就業支援講習会やイベント等は、LINEからも手軽に申し込めるため多くの申込や問合せがあり、利用者の利便性を高めています。

③情報紙「ひとり親家庭・寡婦福祉ニュース“OHANA”」の発行

ひとり親家庭等へ各種の情報提供と併せて市民のひとり親家庭等への意識啓発のために作成し、区役所、図書館等関係機関に配布しました。

Vol. 28 (5月発行) 10,000部

Vol. 29 (9月発行) 10,000部

Vol. 30 (1月発行) 10,000部

3 ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業

市内在住の母子家庭の母及び父子家庭の父、並びに寡婦の方（以下、「ひとり親家庭の母等」という。）が、就業を通じて経済的・社会的な自立を促進することを目的として、次の事業を実施しました。

(1) 就業相談と職業紹介事業

求職者の様々な問題、課題等に対し、キャリアカウンセラー有資格者と福祉経験者が専門的な立場からきめ細かな相談と助言を実施しました。

職業紹介にあたっては、コンピューターシステムによる求職・求人管理を行って就業相談員間の情報共有を行い的確なマッチングを図るとともに、担当制による求職者個々の実情とニーズに応じた柔軟な職業紹介と情報提供後のフォローアップを行いました。

また、求職者がいつでもリアルタイムで求人情報を入手できる「求人検索サイト」を運営するとともに、履歴書・職務経歴書の作成指導、模擬面接の実施、履歴書用写真の撮影サービスなどを実施し、求職者へのサポート体制の充実を図りました。

コロナによる影響で昨年度と同様に非常に少ない求職・求人数で推移した一年となりましたが、就業相談のオンラインでの面接の試行や事業者が求めるウェブ面接へのアドバイスや模擬面接等を行いました。

また、各区が取り組んでいる地域支援調整チームの子育て支援部会に参画し、各機関や団体とネットワークを構築して地域福祉の推進に努めるとともに、就業・自立支援センターの周知も行いました。

- ・相談日時 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時まで
(火・金曜日は午後8時まで)

(2) 求人確保対策事業

求職者個々の就労条件が多様化していることから、より多くの職種や雇用形態の求人を確保する必要があるため、就業・自立支援センターへの直接求人とあわせて、ハローワーク等の職業紹介機関との連携やインターネット情報等の活用を行ったり企業訪問・企業面談の充実、ハローワークからの転用求人事業者への求人票の送付などにより一層の求人確保に取り組み、転用求人に応じてくれた企業へのお礼と求人票の送付による直接求人の開拓など工夫を凝らしました。

センターの紹介による求職者を継続して雇用する事業主は、国の特定求職者雇用たり開発助成金の支給対象となることから、この助成金の支給等について、求人事業主に十分な周知を図り、就業促進に有効活用しました。

また、大阪市(こども青少年局)と連携し、さまざまな機会を通じて企業や団体にひとり親家庭の母等の就業支援を依頼するなど、求人の確保を行いました。

《利用実績》

項目 \ 実績	元年度	2年度	3年度	前年比 %
就業相談件数	2,675	2,649	3,222	121.6
新規求人件数	966	756	795	105.2
新規求人数	3,067	1,545	1,636	105.9
新規求職登録者数	975	793	591	74.5
情報提供件数	6,350	4,747	5,182	109.2
就職者数	427	289	297	102.8
うち特定求職者雇用開 発助成金対象件数	28	18	19	105.6

《成果指標》

	目標値	実績	達成率
就業自立における対応満足度	90%以上	92.0%	102.2%
就業自立における適切に対応できた割合	90%以上	96.6%	107.3%
ステップアップした割合	80%以上	98.9%	123.6%

(3) 各種就業支援講習会

ひとり親家庭の母等には、就業経験が少ないことや、求人条件にみあう技能・資格がないことで再就職に不安を抱えている人、またより良い就業に向けたキャリアアップを望む人などが少なくありません。そのため、就業に有用な資格取得・技能習得のための各種講習会を実施しています。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または定員を50%減らして実施するとともに、コロナ禍でも安心して受講できるようオンラインでの講座も設けました。また、資格取得の幅を広げるため、今年度より「フォークリフト運転技能講座」を新設しました。

さらに、受講者には就業・自立支援センターの求職登録を促し、就業相談・求人情報提供等自立に向けた支援を行っています。

令和3年度に実施した就業支援講習会は次ページのとおりです。

《講習会事業》

講習会名	実施回数	定員 (各回)	応募者数	修了者数	満足度 (平均値)
パソコン入門 (15 時間) ※ ¹	1	10	20	9	67%
パソコン Excel・Word (60 時間) ※ ¹	3	10※ ²	113	21	100%
MOS 検定 (2013) 受験対策	1	10	31	6	60%
簿記 3 級 (75 時間)	1	6※ ²	23	4	100%
登録販売者 (60 時間) 【オンライン講座】	1	12	38	10	100%
調剤事務 (50 時間)	2	6※ ²	53	12	80%
医師事務作業補助者 (50 時間)	1	6※ ²	22	6	100%
介護福祉士実務者研修 (340.5 時間)	1	12	29	11	100%
介護福祉士受験対策 (50 時間)	1	6※ ²	18	3	100%
フォークリフト運転技能講座 (33 時間)	2	6	65	10	100%
就職支援セミナー (9 時間) ※ ³	—	—	6	—	—
看護学校 (准看護師) 受験対策 (105 時間) 【オンライン講座】	1	20	21	16	87%

※¹ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各 1 講座中止

※² 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を 50%減らして実施

※³ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため及び定員に満たなかったため 2 講座ともに中止

(4) 在宅就業推進事業

就業意欲があっても子育てや介護のために就職できない人、短時間の勤務にし
か就けない人などを対象に、パソコンやインターネットを使った「在宅就業(在宅
ワーク)」という新たな働き方をサポートすることを目的として、「在宅就業推進
ナビシステム」を運営するとともに個別相談を実施しました。

また、近年の「新しい生活様式」に対応したリモートワークがコロナ禍の影響
で大きく推進する事となり、従来の「自営型」だけでなく、「雇成型」在宅勤務
の支援に注目し、令和 3 年度にシステムの改修を行った。

「はじめての在宅ワークのためのパソコン講座」を開講
令和4年3月12・19・26日実施 定員10名 受講10名

(5) 無料法律相談

ひとり親家庭等の養育費や遺産相続等の専門的な諸問題に対して、弁護士による無料の法律相談を実施しました。

毎月第2土曜日 午後1時～4時 第3水曜日 午後6時～8時
(いずれも要予約)

※緊急事態宣言発令につき、5月・6月・8月・9月は電話相談

◆相談者数：67名〔相談件数：82件〕

親権	養育費	相続	離婚	認知	金銭貸借	損害賠償	サラ金	債権債務	その他	計
1	22	2	43	0	0	0	1	1(※)	12	82

(※) サラ金を除く